

平成 28年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

事業名： (日本語) 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業  
(英語) Practical Research Project for Life-Style related Diseases  
including Cardiovascular Diseases and Diabetes Mellitus

研究開発課題名： (日本語) 循環器緩和ケアにおける診療の質評価に関する研究  
(英語) Study for Development of Quality Indicators in Palliative Care  
for Patients with Cardiovascular diseases

研究開発担当者 (日本語) 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長 安斉 俊久  
所属 役職 氏名： (英語) National Cerebral and Cardiovascular Center,  
Director of Cardiovascular Medicine, Toshihisa Anzai

実施期間： 平成 28年 4月 1日 ～ 平成 29年 3月 31日

分担研究 (日本語) 慢性心不全の緩和ケアにおける質評価指標の策定と ACP プログラム開発  
開発課題名： (英語) Development of Quality Indicators and Advance Care Planning  
Program in Palliative Care for Patients with Chronic Heart  
Failure

研究開発分担者 (日本語) 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 菅野 康夫  
所属 役職 氏名： (英語) National Cerebral and Cardiovascular Center, Department of  
Cardiovascular Medicine, Head Physician, Yasuo Sugano

研究開発分担者 (日本語) 国立循環器病研究センター 看護部 副看護師長 高田 弥寿子  
所属 役職 氏名： (英語) National Cerebral and Cardiovascular Center Hospital, Assistant  
Head Nurse, Yasuko Takada

研究開発分担者 (日本語) 国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター データ統合室  
長 中村 文明  
所属 役職 氏名： (英語) National Cerebral and Cardiovascular Center, Center for Cerebral

and Cardiovascular Disease Information, Laboratory Chief, Fumiaki Nakamura

研究開発分担者 (日本語) 久留米大学医学部内科学講座心臓・血管内科部門 教授 福本義弘  
所属 役職 氏名: (英語) Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kurume University School of Medicine, Professor and Chairman, Yoshihiro Fukumoto

研究開発分担者 (日本語) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
所属 役職 氏名: 精神保健研究所 社会精神保健研究部 部長 伊藤弘人  
(英語) National Center of Neurology and Psychiatry, National Institute of Mental Health, Department of Social Psychiatry, Director, Hiroto Ito

研究開発分担者 (日本語) 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター  
所属 役職 氏名: がん医療支援部長 加藤 雅志  
(英語) National Cancer Center, Center for Cancer Control and Information Services, Chief of Division of Medical Support and Partnership, Masashi Kato

研究開発分担者 (日本語) 東京女子医科大学循環器内科 准教授 志賀 剛  
所属 役職 氏名: (英語) Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Associate Professor, Tsuyoshi Shiga

研究開発分担者 (日本語) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部 医師、  
所属 役職 氏名: 在宅医療・地域連携診療部 地域医療連携室長 西川 満則  
(英語) National Center for Geriatrics and Gerontology, Department of Palliative Care Doctor, Department of Home Care and Regional Liaison Chief, Section of Regional Medical Liaison, Mitsunori Nishikawa

## II. 成果の概要 (総括研究報告)

- ・ 研究開発代表者による報告の場合

・

### 和文

#### 1. 慢性心不全における緩和ケアの質評価指標の策定

質評価指標に関しては、RNAD/UCLA 適切性評価法を用いて策定した。質評価指標の項目のレベル設定においては、循環器専門医研修施設において循環器専門医が実施できる緩和ケアレベルとして設定した。緩和ケアに関する各種文献およびガイドラインのレビューより、構造・プロセス・アウトカムの3つの視点から質評価項目を抽出した。緩和ケアの質評価指標に関する専門家のスーパービジョンを受けながら43項目の質評価指標候補を抽出した。質評価指標候補の内容の適切性において

は、緩和ケアに精通している多職種で構成された 15 名の専門家パネル委員により、項目毎に 1 - 9 段階による 2 回の個別評価を実施した。1 回目はパネル委員各自で評価を行い、第 2 回目は委員会を開催し合議を行った。その後、2 回目の評価結果を集計し、デルファイ法の一般的なルールである中央値が 7 以上で合意度が D でないものを採択とし、最終的な質評価指標を決定した。今後は、策定された質評価指標を実際に測定して検証を行う予定である。

## 2. 慢性心不全におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) プログラムの実施と評価

ACP の推進と均霑化に向けて、支援ツールとしての医療者用マニュアルと患者用リーフレットを作成した。今後は、これらの資料を用いて ACP を各施設において実施し、その効果についても前後比較により検証する予定である。

### 英文

#### 1. Development of Quality Indicators (QIs) in Palliative Care for Patients with Chronic Heart Failure

We formed the QIs of palliative care in patients with chronic heart failure using RNAD/UCLA appropriateness method. We have set the level of palliative care as the level that can be performed by cardiologist in cardiovascular specialized hospitals. The candidates of QIs in cardiovascular palliative care were extracted by reviewing past publications and several guidelines from the point of views including structure, process and outcome. Then 43 QIs were selected under the supervision of the experts. The appropriateness of the QIs were assessed by 15 panelists consisting of multiple occupation, based on the consensus method named Delphi method. The final QIs were determined according to the scores of the second round of the panelists judgments. These QIs will be evaluated in the study participating hospitals in the next year.

#### 2. Development of Advance Care Planning Program for Patients with Chronic Heart Failure

We prepared the ACP manual for health care providers and leaflet for patients to spread and to secure the quality of ACP. These items will be evaluated in the study participating hospitals in the next year and the beneficial effect of the program will be examined.

#### ・ 研究開発分担者による報告の場合

研究開発代表者：国立循環器病研究センター・心臓血管内科・安斉俊久 総括研究報告を参照。

### III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧 (国内誌 6 件、国際誌 4 件)

1. 菅野康夫, 安斉俊久, 循環器領域における緩和ケア, 循環器病研究の進歩, 2016, Vol 37, 33-38.
2. 菅野康夫, 安斉俊久, 多職種カンファレンスで考える心不全緩和ケア, 南山堂. 2017
3. Mizuno A, Miyashita M, Hayashi A, Kawai F, Niwa K, Utsunomiya A, Kohsaka S, Kohno T, Yamamoto T, Takayama M, Anzai T. Potential palliative care quality indicators in heart disease patients: A review of the literature. J Cardiol 2017 in press

4. Tsuru T, Adachi H, Enomoto M, Fukami A, Kumagai E, Nohara Y, Nakamura S, Nohara Y, Kono S, Nakao E, Sakaue A, Tsuru T, Morikawa N, Fukumoto Y. Augmentation index (AI) in a dose-response relationship with smoking habits in males – The Tanushimaru Study –. **Medicine** (Baltimore). 2016; 95: e5368.
5. Umeki Y, Adachi H, Enomoto M, Fukami A, Nakamura S, Nohara Y, Nakao E, Sakaue A, Tsuru T, Morikawa N, Fukumoto Y. Serum albumin and cerebro-cardiovascular mortality during a 15-year study in a community-based cohort in Tanushimaru, a cohort of the Seven Countries Study. **Intern Med**. 2016; 55: 2917-2925.
6. Honda A, Tahara N, Nitta Y, Tahara A, Igata S, Bekki M, Nakamura T, Sugiyama Y, Kaida H, Kurata S, Fujimoto K, Abe T, Enomoto M, Adachi H, Narula J, Yamagishi S, Fukumoto Y. Vascular inflammation evaluated by [<sup>18</sup>F]-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography/computed tomography is associated with endothelial dysfunction. **Arterioscler Thromb Vasc Biol**. 2016; 36: 1980-1988.
7. 伊藤弘人, 志賀剛. 循環器疾患患者のメンタルケア. 循環器ナーシング. 2017 (印刷中).
8. 伊藤弘人. 身体疾患患者へのメンタルヘルスケア. リハビリテーション医学 54 (6). 2017 (印刷中).
9. Suzuki T, Shiga T, Omori H, Tatsumi F, Nishimura K, Hagiwara N. Depression and outcomes in Japanese outpatients with cardiovascular disease –A prospective observational study-. *Circulation Journal* 2016; 80:2482-2488
10. Miura,H Kizawa,Y Bito,S Onozawa,S Shimizu,T Higuchi,N Takanasi,S Kubokawa,N Nishikawa,M Harada,A Toba,K Benefits of the Japanese Version of the Advance Care Planning Facilitators Education Program *Geriatrics & Gerontology International* 2017, 17(2):350-352

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 循環器疾患患者を対象とした「多職種緩和ケアチーム」による精神症状への包括的介入, ポスター, 菅野康夫, 第 21 回日本緩和医療学会学術学会, 2016/6/17, 国内.
2. ストレスと心臓病, 口頭, 安斉俊久, 日本循環器心身医学会ジョイントシンポジウム, 第 6 4 回日本心臓病学会学術集会, 2016/9, 国内.
3. 高齢者における侵襲的治療の適応, 口頭, 安斉俊久, 特別企画 1, 第 2 0 回日本心不全学会学術集会, 2016/10, 国内.
4. 心理的アプローチ, 口頭, 庵地雄太, 水谷和郎, 上羽康之, 菅野康夫, 安斉俊久, 伊藤弘人, ハートチームシンポジウム, 第 2 0 回日本心不全学会学術集会, 2016/10, 国内.
5. 補助人工心臓装着患者に対する緩和ケアの現状と課題, 口頭, 菅野康夫, 黒田健輔, 久松恵理子, 中谷武嗣, 福嶋教偉, 安斉俊久, シンポジウム, 第 2 0 回日本心不全学会学術集会, 2016/10, 国内.
6. 慢性心不全におけるアドバンス・ケア・プランニングの意義とあり方について, 口頭, 高田弥寿子, シンポジウム, 第 20 日本心不全学会学術集会, 2016/10/9, 国内.
7. 循環器緩和ケアにおける診療の質評価に対する研究の取り組みと中間報告, 口頭, 菅野康夫, 第 73 回日本循環器心身医学会総会, 2016/11/3, 国内.

8. 慢性心不全における意思決定支援の現状と質の均霑化に向けた取り組み, 口頭, 高田弥寿子, 第 73 回日本循環器心身医学会総会, 2016/11/3, 国内.
9. 心不全の緩和ケア, 口頭, 高田弥寿子, シンポジウム, 第 44 回日本集中治療医学会学術集会, 2017/3/9, 国内.
10. 患者のニーズからみた慢性心不全における ACP の実践と課題, 口頭, 高田弥寿子, 教育講演, 第 81 回日本循環器学会学術集会, 2017/3/18, 国内.
11. 外来看護師による重症心不全患者への継続的な意思決定支援・生活支援の取り組み, 口頭, 中島菜穂子, 柴田龍宏, 塗木京子, 村上美樹, 大場豊治, 青木正恵, 馬渡一寿, 迎美智子, 佐野智美, 赤須晃治, 岡田晃代, 福本義弘, 第 21 回日本緩和医療学会学術集会, 2016 年 6 月 17 日~18 日, 国内
12. 既存のがん緩和ケアチームと協働する循環器緩和ケア・サポーターケアシステムの提案とその実際, 口頭, 柴田龍宏, 中島菜穂子, 塗木京子, 馬渡一寿, 村上美樹, 永田隆信, 赤須晃治, 佐野智美, 福本義弘, 第 64 回日本心臓病学会学術集会, 2016 年 9 月 23 日~25 日, 国内
13. 既存の緩和ケアチームと循環器スタッフの協働がもたらすもの~心不全緩和ケアは創生期から普及期へ~, 口頭, 柴田龍宏, 中島菜穂子, 塗木京子, 馬渡一寿, 村上美樹, 永田隆信, 堀川直希, 赤須晃治, 佐野智美, 福本義弘, 第 20 回日本心不全学会学術集会, 2016 年 10 月 7 日~9 日, 国内
14. 既存の緩和ケアチームと循環器スタッフの協働から見えてきた心不全緩和ケア普及への手掛かり, 口頭, 柴田龍宏, 中島菜穂子, 塗木京子, 馬渡一寿, 村上美樹, 永田隆信, 堀川直希, 赤須晃治, 佐野智美, 福本義弘, 第 73 回日本循環器心身医学会学術総会, 2016 年 11 月 3 日, 国内
15. 心臓移植登録検討患者の意思決定支援に対する多職種チーム介入の検討, 口頭, 中島菜穂子, 柴田龍宏, 塗木京子, 馬渡一寿, 村上美樹, 永田隆信, 堀川直希, 赤須晃治, 佐野智美, 福本義弘, 第 73 回日本循環器心身医学会学術総会, 2016 年 11 月 3 日, 国内
16. 地域包括的心不全緩和ケアの実現に向けた久留米大学病院の取り組み, 口頭, 柴田龍宏, 中島菜穂子, 塗木京子, 馬渡一寿, 村上美樹, 永田隆信, 堀川直希, 赤須晃治, 佐野智美, 福本義弘, 第 24 回 日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会, 2017 年 2 月 4 日~5 日
17. Impact of PHQ2 screening in outpatients with heart failure. A multicenter prospective observational study, ポスター, Suzuki T, Shiga T, Suzuki A, Yamaguchi J, Sato K, Kamijima K, Arashi H, Serizawa N, Tatsumi F, Omori H, Nishimura K, Hagiwara N, ESC congress 2016, 2016/8/29, 国外
18. Impact of core depressive symptom in outpatients with heart failure. A multicenter prospective observational Patients Health Questionnaire study, ポスター, Suzuki T, Shiga T, Suzuki A, Yamaguchi J, Sato K, Kamijima K, Arashi H, Serizawa N, Tatsumi F, Omori H, Nishimura K, Hagiwara N, 第 81 回日本循環器学会学術集会, 2017/3/19, 国内
19. 西川満則 在宅医療と連携したアドバンス・ケア・プランニングとエンド・オブ・ライフケア 第 2 回患者家族メンタル支援学会 2016/10/22 国内
20. 西川満則 ACP の現状と展望の総括 第 13 回日本乳癌学会中部地方会 2016/9/10 国内
21. 西川満則 アドバンス・ケア・プランニングファシリテーター(ACPF)養成の実践から見えてきたもの 第 58 回日本老年医学会 2016/6/8 国内

22. 西川満則 三浦久幸 地域における日本版アドバンス・ケア・プランニング (ACP) ファシリテーター養成の実現可能性研究 第 27 回日本在宅医療学会 2016/6/5 国内

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

1. 心不全の終末期と緩和ケアを考える, 安斉俊久, これからの心臓病医療を考える会, 第3回全体会議, 2016/7月, 国内.
2. 心不全～その現状・治療・予防について, 安斉俊久, 第28回市民とともに考える救急医療シンポジウム, 2016/9, 国内.

(4) 特許出願

該当なし